

「子ども達と共に学び、子ども達の成長を 見守り続けるボランティアグループ」

私達は加納小学校を基盤として活動する「読み語り」のボランティアグループです。

平成11年に、当時の加納小学校長の呼びかけにより、猿投北交流館の講座としてメンバーが集まり、その年の11月から小学校での読み語りがスタートしました。発足時、「さとの声」というグループ名は子ども達にとって「なつかしい心のふるさと」になって欲しいという願いを込めて命名されました。

あれから20年、先生方の理解と協力、楽しみに待っていてくれる子ども達、そして、本と子ども達が大好きなメンバーの熱意によって、「さとの声」の活動は続いてきました。私達の活動が子ども達の心の中に、楽しかった思い出として残り、大人になり、親となった時に、また、次の世代に伝え、繋いでいってくれたら嬉しいことです。

令和元年度から、「さとの声」は、地域学校共働本部のボランティアグループの一員となりました。先生方はいつか転勤されていきますが、私達は地域の人間としてこれからもずっと、子ども達の成長を見守っていくことができます。

保護者だけでなく、たくさんの人達が温かい心と眼差しで、地域の子育てに関われるよう、「さとの声」の活動も気長に、根気よく続けていきたいものです。

加納小学校は、私達にとっても新しい出会いや経験をさせてくれる【学び舎】です。

メンバーのみんなが、無理なく！楽しく！をモットーに子ども達と共に学び子ども達の成長を見守り続ける、ボランティア活動を目指していきましょう。